

# 芸閣

～図書館だより～

第2号  
2020年6月  
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。  
書庫、書齋という意味です。  
（「芸」は書籍に挿む虫除けの香草）



## 梅 雨

今年の近畿地方の梅雨入りは6月10日頃でした。梅雨入りが例年より遅く、梅雨の期間は短くなるという予想です。「梅雨」にも色々な言葉があります。ご存知ですか？

走り梅雨（はしりづゆ）… 本格的な梅雨になる前の、ぐずついた気候。

空梅雨（からづゆ）… 梅雨の時期に雨があまり降らないこと。

照り梅雨（てりづゆ）… 「空梅雨」に同じ。

送り梅雨（おくりづゆ）… 梅雨が明ける頃に降る激しい雨。雷を伴い特に、時に豪雨になる。

戻り梅雨（もどりづゆ）… 梅雨が明けたあとに、再び訪れる梅雨と同じような気象状態。

返り梅雨（かえりづゆ）… 戻り梅雨

残り梅雨（のこりづゆ）… 梅雨が明けたあとの、ぐずついた天気。



（大森林より）

6月22日（月）から座席の利用もできます！

今まで、貸出・返却のみでしたが、座って本を読んだり、勉強をしたりできるようになります。（ただし、座席数は制限しています）



（裏面に新しく入った本の紹介を載せています）

# 新しく入った本の紹介

## 日本の小説



- 『できない相談』 森絵都 著 筑摩書房  
『ドミノin上海』 恩田陸 著 KADOKAWA  
『蛍草』 葉室麟 双葉社  
『丸の内魔法少女ミラクリーナ』  
村田沙耶香 著 KADOKAWA  
『彼女たちの場合は』 江國香織 著 集英社  
『うつくしが丘の不幸の家』  
町田そのこ 著 東京創元社  
『回転草』 大前栗生 著 書肆侃侃房  
『ひこばえ』 重松清 著 朝日新聞出版  
『どうしても生きる』 朝井リョウ 著 幻冬舎  
『思い出の修理工場』 石井朋彦 著 サンマーク出版  
『灘校物語』 和田秀樹 著 サイゾー  
『イマジン?』 有川ひろ 著 幻冬舎  
『イモムシ偏愛記』 吉野万理子 著 光文社  
『希望の糸』 東野圭吾 著 講談社  
『月とコービー』 吉田篤弘 著 徳間書店  
『クスノキの番人』 東野圭吾 著 実業之日本社  
『くらやみガールズトーク』  
朱野帰子 著 KADOKAWA  
『シャガクに訊け!』 大石大 著 光文社  
『タスキメシー箱根』 額賀濤 著 小学館  
『あたしたち、海へ』 井上荒野 著 新潮社  
『部長会議はじまります』  
吉野万理子 著 朝日学生新聞社  
『世界が僕らを嫌っても』  
片山恭一 著 河出書房新社  
『ダーク・ブルー』 真保裕一 著 講談社  
『発注いただきました!』 朝井リョウ 著 集英社  
『母さんは料理がへたすぎる』  
白石睦月 著 ポプラ社  
『護られなかった者たちへ』  
中山七里 著 NHK出版

## 哲学

- 『働き方の哲学』  
村山昇 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン  
『「織細さん」の本』 武田友紀 著 飛鳥新社  
『「かわいい」のちから』 入野野宏 著 化学同人  
『大好きな人の「ド本命」になるLOVEルール』  
神崎メリ 著 大和書房  
『超習慣術』 メンタリストDaigo 著 ゴマブックス

## 地理歴史

- 『365日世界一周の絶景の旅』  
TABIPPO 編 いろは出版  
『プラタモリ』 1~18 KADOKAWA  
『日本神話の「謎」を歩く』 藤井勝彦 著 天夢人  
『「謎トキ」日本史写真・絵画が語る歴史』  
阿部泉 編著 清水書院

## 社会科学

- 『社会のしんがり』 駒村康平 編著 新泉社  
『生きづらさについて考える』  
内田樹 著 毎日新聞出版  
『10代からのワークルール』 1~5  
上西充子 監修 旬報社  
『国谷裕子と考えるSDGsがわかる本』 文溪堂

## 自然科学

- 『読書がたくましい脳をつくる』  
川島隆太 著 くもん出版  
『スポーツでのばす健康寿命』  
安部孝 編 東京大学出版会  
『そうだったのか! ヒトの生物学』  
坪井貴司 著 丸善出版

ここに紹介している以外にも新しい本がたくさん入っています

